

	<p>桔梗が丘自治連合協議会</p> <p>平成24年度 第5回 理事会 議事録</p>
場 所	桔梗が丘公民館・202号室
日 時	平成24年9月22日(土) 9:30~12:40
出 席 者	出席者・辻森、大垣、上田、河合、武仲、東、阪本、野邊、高槻、廣岡、竹原、吉野、梅本、中村、山中、松村、田合監事、福森監事、森田地域担当監 欠席者・加納。
議 事 決議事項	<p>大垣副会長が司会を務め会議が始まった。</p> <p>辻森会長の開会のあいさつの要旨</p> <p>「9月は敬老の日の行事がメインでしたが、無事終了した。日本の高齢化率も年々進み昨年度は全国平均24.1%、(65歳以上の割合)、桔梗が丘地区でも65歳以上の方が25.9%となり、更に桔梗が丘西を除くとより高くなっている。</p> <p>従って我々のまちづくりメンバーもシニア層が中心にならざるを得ない状況にある。先日の新聞報道の中に地域づくりに参加しない理由として、活動内容が分からない、役員が面倒、一緒にする仲間がいない等の理由が挙げられていたが、我々もこうした点に留意して仲間作りをしていかなければならないと思う。今後、各委員会・部会のメンバーの確保、更に新しい地域ビジョンに基づくプロジェクト事業の展開には、新しい仲間作りが大きな課題となってくる。そこで地域の皆さんがどのような形であれ参加出来る、参加しやすい環境づくりが大切になってくると思うので、皆さんのご協力をよろしくお願いします。」と述べた。</p> <p>引き続き、辻森会長が議長を務め審議が始まった。</p> <p>1. 議事録署名人 本会議の議事録署名人に吉野孝司氏、梅本久子氏の2氏を指名することに決した。</p> <p>2. 平成24年度桔梗健康まつり実施計画(案)について 高槻健康推進部会長から、平成24年度桔梗健康まつり実施計画(案)について、別添え資料に基づき概ね次のように説明と提案があった。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. この事業の目的と実践方法は資料に記載されたとおり。 2. 本年度の「桔梗健康まつり」は、昨年度同様にウォーキングと健康まつりを別々の日に開催する。 3. ウォーキングは10月27日(土)、青山四季の里で午前中ウォーキング、午後ゲーム(スカイクロス)を行う。 4. 参加者は約40名を見込んでおり、本年度は交通費の半額(片道分)を協議会で負担する。昼食等は参加者の負担。

報告事項	<p>5. 桔梗健康まつりは11月4日(日)に開催。参加者は昨年並みの250人から260人を予定している。</p> <p>桔梗が丘フィットネスクラブは11月末で営業中止になるそうですが、今年は協力してもらえとの事です。歯の健康チェックは3番町の石田歯科クリニックさんが協力いただける。その他は昨年とほぼ同じ内容です(資料記載)。</p> <p>以上の提案の後、議長は意見を求めた。</p> <p>・ウォーキングの参加者の交通費負担は「一部」ではなく「片道」と表記した方が良い。</p> <p>Q：桔梗が丘フィットネスクラブが11月末で営業中止になると来年度はどうするのか。</p> <p>A：同内容のものをしたいと思っているが、具体的には未定です。</p> <p>Q：募集案内を作成するとき、駐車場料金の表示は不要ではないか。</p> <p>A：スタッフ以外は車を利用しないから提案の通りにする。</p> <p>その他特に意見は無く、平成24年度桔梗健康まつり実施計画(案)は採決の結果、全員異議無く承認された。</p>						
1. 桔梗が丘夏まつりの結果について	<p>廣岡住民交流部会長から、桔梗が丘夏まつりの結果について別添え資料に基づき概ね次のような報告があった。</p> <p>「夏まつり終了後、部会、自治連合会並びに先月の理事会で出された意見をまとめて報告書を作成して本日配布しています。</p> <p>今年の夏まつりは、突然の雷雨でフラメンコ、琉真太鼓、盆をどりを中止せざるを得なかったのが最大の問題でした。人出も少し減少したが、全体としては概ね成功でした。</p> <p>昨年から改善した点は①地域内で広報車を使いまつりの実施を知らせた。②本部席を移動することにより人の流れがスムーズになった、の2点です。</p> <p>今後の検討すべき点は①本部席の移動に伴い来賓の応対や机をきれいなものにすることを考える。②テントを簡易で軽量のものを各区・自治会から借用したほうが良いという2点です。</p> <p>その他、シャトルバスも想定のとおり利用があった。また大きな怪我も無かった。(テント収納時に指に怪我をした部会員があった。)</p> <p>来年は10回目の節目となるが、模擬店中心の祭りとして浸透してきたので、アトラクション(イベント)についてはその意味合いを再検討してはどうかと考えている。地元に着した出し物を中心にする等。</p> <p>開催の日時は第4週の8月24日(土)を考えている。」</p> <p>引き続き松村事務局次長から、夏まつりの決算報告が次のようにあった。</p> <p>収入の部</p> <table data-bbox="440 1877 1024 2007"> <thead> <tr> <th colspan="2">決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協賛金</td> <td>1,068,000円 (140件)</td> </tr> <tr> <td>繰出金</td> <td>900,000円</td> </tr> </tbody> </table>	決算額		協賛金	1,068,000円 (140件)	繰出金	900,000円
決算額							
協賛金	1,068,000円 (140件)						
繰出金	900,000円						

	<p>雑収入 24,029円</p> <p>合計 1,992,029円</p> <p>支出の部</p> <p style="text-align: center;">決算額</p> <p>事務経費 89,197円 (部屋賃貸料、電気代等)</p> <p>食料費 98,850円 (弁当代)</p> <p>舞台照明費 677,670円</p> <p>イベント費 33,000円 (出演お礼)</p> <p>広報費 78,694円</p> <p>警備費 168,294円 ((安全警備12名)</p> <p>シャトルバス 105,420円 (三重交通)</p> <p>縁日費 516,560円 (模擬店利用券、テント借用代等)</p> <p>合計 1,767,685円</p> <p>収入から支出を控除した残額224,344円は住民交流費の繰出金に戻入した。</p> <p>廣岡部会長から、実行委員、評議員の皆さんのご協力のお陰で無事終了できた事にお礼と感謝する旨を述べた。</p> <p>引き続き、議長は出席者の意見を求めた。</p> <p>吉野生活安全部会長から、警備を担当したが、桔梗が丘中学校駐車場の入り口表示を分かり易くするため、来年度は看板を設置して欲しいと要望が出された。</p> <p>(事務局了承)</p> <p>大垣副会長から、「先日の自治連合会では、雨天その他の事態に備えて、休憩所(救護所)、もしくはテントの数を増やしてはどうかと意見が出されたのでご検討いただきたい。」と述べた。</p> <p>野邊広報委員長：「毎年、名張桔梗丘高校の吹奏楽部の演奏があるが、場所は現在の道路でいいのか、舞台のほうがいいように思えるが。」</p> <p>廣岡部会長：「来年は舞台を考えているが、音の方向の流れが現在の方が良いとのこともあるので、さらに検討したい。」</p> <p>辻森会長から、「協賛金をいただいた方は今月の「ききょう通信」で披露をした。又基本的に協賛金は全部まつりの費用として使用させていただき、余剰の繰出金に戻入したので了承願いたい。」と述べた。</p> <p>以上、夏まつりの報告は了承された。</p>
2. 平成24年度協議会会計及び公民館会計累計報告について	<p>松村事務局次長から、平成24年度協議会会計及び公民館会計累計(平成24年8月末)について、別添え資料に基き、概ね次のような報告があった。</p> <p>協議会会計</p> <p>収入の部内訳</p> <p>1. 会費 「地区会費」 776,000円</p> <p>2. 補助金 「市社協補助金」 210,000円</p> <p style="padding-left: 2em;">〃 「コミュニティ助成費用(宝くじ助成金)」</p>

	1, 112, 500円
6. 雑収入「預金利息」	483円
合計	2, 099, 583円

支出の部の内訳（主な科目を報告）

1. 総務費 「人件費」	711, 875円(職員給与)
2. 企画運営費「事業費」	88, 200円(印刷代)
4. 健康推進費「事業費」	29, 160円(ラジオ体操参加賞)
9. 地域福祉費「事業費」	29, 200円(いきいきサロン)
14. 仮払金	1, 112, 500円(コミュニティ助成費用による防災用品購入費)
合計	1, 971, 525円

引き続き、公民館会計について、別添え資料に基き、概ね次のような報告があった。

公民館会計

収入の部（主な科目のみ）

1. 使用料等	231, 657円(使用料とコピー代)
2. その他収入「事業収入」	104, 550円(夏期大学受講料等)
合計	336, 207円

支出の部（主な科目のみ）

1. 人件費	57, 830円(館長給与等)
2. 管理費	1. 消耗品 84, 015円(コピー用紙、印刷機等)
	3. 光熱費 268, 084円
	6. 委託手数料 213, 486円(清掃委託、エレベーター点検委託等)
	8. 使用料 70, 080円(リース料等)
3. 運営費	1. 報償費 20, 000円(主催講座講師)
	5. 事業費 310, 290円(主催講座教材費用)
合計	1, 066, 797円

引き続き、議長は出席者の意見を求めた。

- ・ 項目に次期繰越金とあるが、期の途中なので繰越金で良いとの意見があり、来月から訂正することになった。

田合監事：「人件費の支出はどのように振り分けているのですか」

松村事務局次長：館長の給与を除く職員の方は毎月協議会、公民館会計交互に支出処理をしている。従って年度末には折半負担となる。

3. 委員会・部会 報告

<総務委員会>

大垣副会長（総務委員長）から、委員会活動について次のように報告があった。

「9月8日（土）に開催した「コミュニティカフェって」の講演会は、約50人

の参加者があり、昌子先生の講演内容も多岐に亘り、大変意義深いものとなりました。ご参加ありがとうございました。

次に、11月10日(土) 予定している研修会は、案内状を10月初旬に配布をさせていただく。研修先は大阪市淀川区三津屋の地域づくり組織「みつや交流亭」と豊中市新千里東町の「ひがしまち街角広場」の2ヶ所で、双方共コミュニティビジネスを手掛けており、我々の参考になると思うので、是非ご参加下さい。」と述べた。

<企画運営委員会>

阪本企画運営委員長から、委員会活動について次のように報告があった。

「9月の始めに「プロジェクト事業の概要」を各戸配布し、プロジェクトチームメンバー及びプロジェクト事業サポーターの募集をした。

応募の状況は、プロジェクトチームメンバーの「あそびつくすの組織化」は無し、「ふれあい茶房」：9人。プロジェクト事業サポーターの方は、「何でも屋お助けセンター」：2人、「ききょう学び舎」：1人、「ききょう農楽園」：2人、「地球環境ねっと」：1人、「地域まもり隊」：1人、「ふれあい茶房」：3人の合計10人。「あそびつくす」は申込が有りません。今後とも人材の確保にご協力お願いします。」と述べた。

<広報委員会>

野邊広報委員長から、委員会活動について次のように報告があった。

「ききょう通信」第52号を発行し、9月の回覧で配布をした。今号の記事は、夏まつりに協賛金を拠出頂いた方の名前を感謝も込めて掲載した。

これは桔梗が丘夏まつりが地域に大変密着した行事であり、今後も地域住民の皆さんの協力無しには立ち行かないことでもありますので、より関係を深める点からも考えて取り上げました。

次号の53号は、11月発行の予定で作業を進めている。掲載の予定稿として、先日のまちづくり講演会「コミュニティカフェって」の昌子住江氏の話の内容、今月末の健康講座について等を考えている。部会活動の紹介も検討している。

先月も報告した広報なびりへの協議会活動の紹介記事の原案を配布していますので、ご意見をいただきたい。内容は健康推進部会の健康まつりを取り上げています。」と述べた。

引き続き、掲載記事の内容について意見交換があり、概ね次のようにまとめることになった。

- ・今年の開催日の掲載について意見交換の結果、参加者の範囲も考慮して、また字数の関係から考えて11月4日(日)開催と入れることになった。
- ・メールアドレスは桔梗が丘公民館に変更する。
- ・地域の行事・事業への参加者の範囲について意見交換の結果、他地域からの参加者には受益者負担の原則に照らして、実費負担をしてもらうことにし、今後、更に

検討課題として取り組んでいくことになった。

<健康推進部会>

高槻健康推進部会長から、部会活動についてつぎのように報告があった。

「9月13日(木)健康体操教室を実施した。参加者は29人。講師は2番町の竹政悦子さん。リズムに乗って楽しく体を動かす体操で、参加者にも大変好評でした。

9月30日(日)名張市健康支援室、桔梗が丘地区まちの保健室の協力で三重大学医学部伊藤正明教授の講演会を開催します。演題は「生活習慣病を理解して、護ろう健康!!」です。皆さんのご参加をお願いします。」と述べた。

<住民交流部会>

廣岡住民交流部会長からは、先程の夏まつりの結果報告に代える旨を述べた。

<教育文化部会>

竹原教育文化部会長から、部会活動について別添え資料に基づき概ね次のような報告があった。

9月19日(水)定例部会を開催して、以下の4項目について審議した。

(1) 桔' ずセミナー反省・・全てのコースとも参加した子供たちは熱心に受講し好評でした。

- ・ ボランティアの皆さんのご協力に感謝したい。(次回も協力をいただけることになった。)
- ・ ソーランのユニフォームを来年度新調したい。
- ・ 囲碁の参加者で、公民館サークル(囲碁入門)に参加した児童があり講師の方が喜んでおられた。
- ・ 修了証書を作成して、各学校を通じて参加した児童に渡した。

(2) こころの思い発表会について

- ・ 10月20日(土)の公民館展に合わせて開催することになっているが、当日の各役割を決めた。
- ・ 音楽部への参加賞を渡したい。一人100円検討で、ふるさと歴史ハイキングの参加賞と兼ねて購入を検討している。

(3) ふるさと歴史ハイキングについて

- ・ 11月10日(土)、秋の杉谷神社と塚原遺跡をめぐる約6.5キロメートルのコース。指導は門田了三氏。

(4) 冬の桔' ずセミナーについて

- ・ 開催日は12月8日(土)
- ・ 開催講座は料理(24人)、科学(20人)、手芸(24人)、を予定している。
- ・ 料理の講習会は12月3日(月)に開催します。

<生活安全部会>

吉野生活安全部会長から、部会活動について別添え資料に基づき概ね次のような報告があった。

(1) 9月20日(木)、青色防犯パトロールの講習会を開催した。防犯パトロールに参加している6人全員が受講し、名張警察署生活安全課の松月係長の話聞いた。尚この講習会はおおむね2年ごとに受講することになっている。

(2) 青色回転灯装着車両による防犯パトロールを4回実施した。4回目は昨日の21日(金)に「名張少年サポートふれあい隊」と合同パトロールを実施した。いずれの回も異常は無かった。尚、合同パトロール実施前に意見交換会を開催した。

引き続き、竹原理事から、「名張少年サポートふれあい隊は、30数年前から組織されているグループです。現在名張市内に10班ある。桔梗が丘では6班が桔梗が丘小学校、蔵持小学校を、7班が桔梗が丘南小学校、桔梗が丘東小学校を受け持っている。活動内容は、毎月一回児童に声掛けを行って児童の健全育成に努めている。」と説明があった。

<快適環境部会>

加納快適環境部会長は欠席。特に報告事項は無かった。

<地域福祉部会>

梅本地域福祉部会長から、「本年度の敬老の日に行事で、長寿祝い品と記念品を各自治会(区)長と合同で配布をした。当部会の部会員は全員が民生委員を兼ねているという関係で、当部会員が高齢者宅の見守りを兼ねた訪問として意義ある行事でした。」と述べた。

大垣副会長から「地域ビジョンプロジェクトチームメンバー及びプロジェクト事業サポーターの募集は、応募の方が順調にあるようですが、まだまだ人材の確保が必要になります。そこで年明けの平成25年早々に各自治会の組長会の会合に出掛けて趣旨の説明等をしたいと考えています。」と述べた。

その他

1. 名張市消防団員の募集について
～蔵持分団桔梗が丘班～

田合名張市消防団蔵持分団桔梗が丘班長(監事)から、名張市消防団の現状と団員募集について協力依頼があった。その内容は概ね次のようなものであった。

- ・ 日頃から消防団活動にご理解、ご協力いただき有難うございます。
- ・ 9月8日(土)開催の蔵持分団会議で平成25年度から桔梗が丘地区は2班体制となる事が決定しました。
- ・ 現在名張市消防団は500人体制で組織されており、その組織の紹介と活動内容の説明があった。(資料記載の組織図参照)
- ・ 平成25年度から蔵持分団は、現在の2部7班から3部8班体制となり、冒頭申し上げた桔梗が丘の2つの班が新しい部を構成することになります。これは

	<p>全国の新興住宅地初になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この場合、当地域にもう一箇所資機材置き場を設置することになる予定ですので、どこに設置出来るのか、自治連合会で協力をお願いした。 ・ 将来的には、この新しい2つの班が桔梗が丘分団になる可能性があります。 ・ 別紙3に平成24年度の消防団事業計画を掲載しているのので、参考にしてください。 ・ 別紙4に、本年9月1日現在の桔梗が丘班の各区・自治会ごとの団員名簿を記載しています。最近では現団員の年齢もかなり高齢化しており、若返りも含めて新しい団員の確保が急務になっています。 ・ そこで、以前より各区・自治会から1名の参加をお願いしているところですが、引き続きよろしくお願ひします。特に民生委員さんのご協力を願ひします。今回は平成25年2月末を目処に募集を願ひしています。(平成25年4月から活動開始するために)同様の依頼を先日の自治連合会でも願ひしましたが、理事の皆さんもよろしくお願ひします。 <p>辻森会長から、「我々にとっても安全・安心のまちづくり推進の面からも、消防団の役割の重要さは十分に理解されており、ご協力よろしくお願ひします。」と述べた。</p> <p>大垣副会長から、「消防団が2班体制になった時、必要になる資機材置き場は桔梗が丘西に設置することになると思う。」と述べた。</p>
<p>2. ハザードマップ説明会開催について</p>	<p>辻森会長から、「先般、名張市危機管理室が作成したハザードマップが各戸配布されました。今後の運用等について危機管理室から説明会開催の要請がありました。これは自治連合会を中心とした開催となりますが、日時を10月21日(日)19時から開催したいと考えているので、皆さんも都合がよければご参加下さい。」と述べた。</p> <p>引き続き、「ハザードマップの配布は名張市内全戸が対象になっているが、自治会・区に加入していない家庭をどうするか市側で検討している。」と述べた。</p>
<p>3. 地域SOSシステムの立ち上げについて</p>	<p>辻森会長から、「7月の定例理事会で出された「地域SOSシステム(案)」が正式に立ち上げられ、そのマニュアルが各自治会・区に配布された。参考に写しを本日配布している。これは今後高齢者の保護対策をスムーズに運用するために大変重要なシステムと考えています。皆さんもご承知置きいただきたい」と述べた。</p>
<p>4. 防災ラジオの配布について</p>	<p>辻森会長から、「第3回目となる防災ラジオの配布があり、先日連合会を通じて要望のあった世帯に配布をした。尚、これまでどおり今回要望された方には、桔梗が丘地区の「災害時要援護者支援シート」を配布していますので、民生委員さんのご協力も願ひします。」と述べた。</p>
<p>5. 高校統合問題について</p>	<p>福森監事が特に発言を求め、伊賀地区の高校統合問題について、三重県教育委員会の現在の取り組み状況について、昨日開催された「伊賀地域高等学校再編活性化</p>

推進協議会」を傍聴した結果について報告した。

「県教委は当初、平成27年度目途に統合を計画したようだが、時期尚早であるとの理由から、平成27年度は実施しないことになった。裏返すと平成28年度から実施が決定したとも理解できる。

名張桔梗丘高校と名張西高校の統合問題は、統合後の学校の形、設置場所も本年度中に決定するとのこと。新しい学校の設置場所次第では桔梗が丘から高校が無くなってしまいかも知れないことになる。

そこで我々が考えなければならないのは、桔梗が丘地域から学校が無くなることの影響ではないかと思う。もう一方の地域の百合丘では関心が高まっている。」と述べた。

引き続き、桔梗が丘地区ではどのように取り組んでいくのか、意見交換があった。

<出された意見の概要>

- ・ 百合丘地区では関心が高いという話はある。交通の便を考慮すると桔梗が丘の方が便利と思う。
- ・ 名張市内間で高校の誘致合戦はすべきでないのではないか。名張市内の小・中学校統廃合の問題と少し意味合いが違うと思う。この問題とは別に桔梗が丘地域内に必要とされる各設備・施設（公共、民間を問わず）をどのようにしていくべきか、地域全体で捕らえ検討した方がいいのではないか。
- ・ 昨日の会議で県教委は、どちらになるかは別にして、跡地・施設の利用については、名張市、地元地域と充分連携・協議をしていきたい意向であった。
- ・ 桔梗が丘地区としては無関心では無く、常に注視していくことは重要と思う。
- ・ 現在、桔梗が丘地域の皆さんのこの問題に関する関心は低いと思う。そこでもっと関心を持っていただくように協議会としてアピールすべきだと思う。
- ・ 具体的にはどのようにするのか。
- ・ 県教委の説明会等を通じて周知することは可能。場合によっては要望書の提出も視野に入れても良い。提出するかどうかは別途議論が必要になるが。
- ・ 現状を「ききょう通信」等で住民に知らせることは良いと思う。
- ・ 住民の総意がまとまれば、何らかの行動を起こすことも必要と思う。（桔梗が丘から高校が無くなることに対する住民の意識の問題）
- ・ 地域の住民の皆さんの関心は意外と低いと思う。そこで関心（地域に高校があることの意味）を持ってもらうようにもって行くことは必要と思う。

以上の意見交換の結果、本日の結論としては、桔梗が丘に高校が存続してもらいたい。そのためには更に状況の把握に努め、色々の方法で情報収集をすることになった。

その後で説明会の開催を求める等の方策を立てることとなった。

6. 名張市社会福祉協議会の事業協助者(感謝)の被表

辻森会長から、名張市社会福祉協議会の事業協助者(感謝)の被表彰者に3名の方を推薦した。

本年度は、桔梗が丘校区の3小学校の児童の登下校時の安全見守りを長年に亘っ

彰者推薦について

て続けている方です。

桔梗が丘小学校区 田村勝利さん

桔梗が丘東小学校区 山縣英雄さん

桔梗が丘南小学校区 宮西智子さんです。」と述べた。

梅本地域福祉部会長から、「最近桔梗が丘西地区で一人暮らしの高齢者の男性が死亡して数日後、区長と民生委員が遠隔地にいる親族に連絡して発見されるという事があった。

桔梗が丘でも男性の高齢者の一人暮らしが増えている。こんな状況を認識して日頃から気を付けていきたいと考えているが、皆さんもそのあたりの事について関心を深めていただきたい。」と述べた。

以上で議事は終了した。

次回理事会は、平成24年10月27日(土)

時 間 午前9時30分より

場 所 桔梗が丘公民館 202号室

議 長

辻森保蔵 

議事録署名人

吉野孝司 

議事録署名人

梅本久子 

	副会長	副会長	総務委員長	書 記
				